

TTC 山行実施記録表

2014年2月4日 報告者： 菊地友弥

山行名	鳶尾山イベント山行【仏果山・高取山代替】 235m (神奈川県)		
実施日	平成 26 年 2 月 22 日(日) 日帰り／現地集合・現地解散		
天候／参加人員	天候：晴れ レベル：★ 参加者：申込 28 名/実施 28 名 (男 12 名/女 16 名)		
パーテスタッフ	CL/計画/救護： SL:、 会計：、 写真： スタッフ名削除		
参加メンバ	☆ ☆ 参加者氏名削除 ☆ ☆		
費用 14,000 円 (500×28 人)	ビール・お酒 6000 円 うどん材料 28 人分 3800 円 (うどん 20 袋、しめじ大 2 パック・まいたけ 4 パック 調味料) 長ねぎ (寄贈) どんぶり、箸 457 円 ステックコーヒー 498		
交通費は各自支 払	かぼちゃパイ 945 円 ごぼう天ぶら材料費 500 円 ボンベ代@300×4=1200 合計 13,400 14000-13400=600 円を TTC にカンパ		
	歩行時間	休憩時間	行動時間
計画	2:30	2:00	4:30
実行	2:30	1:45	4:15
歩行距離: 約 4km			
実行コースタイム記録			
(集合)	0:40	0:40	(うどんパ-ティ) 0:35 0:35
鳶尾団地 BT	-----	展望台	-----
10:00	10:40	10:50	11:30 13:00 10:35 13:40 14:15 14:30
-----	展望台	-----	鳶尾団地 BT
コースの概要、特記事項、反省事項等			
<p>経過 10 年間在籍し世話人で山行リーダーでもある H さんが今期で退会されるというので仏果山・高取山の慰労山行を提案山行として計画した。2 月 8 日は菜畑山行が H さんの最後の計画で予定されていたが天候が崩れて中止になったことも急遽計画の起因となった。募集したところ 21 人の応募があった。2 月 8 日は今冬初めての大雪となった日で計画した仏果山も 30 センチほどの積雪があり、近場で雪山の体験ができる良い機会と思った。心配だったので 13 日に下見をして、トレースもあったので実施日までは間があり何とかなるだろうと気楽に考えていたが 2 日後の 15 日に記録的な大雪になった。結果的に仏果山は無理ということで鳶尾山に変更して再募集を行った結果、28 名の応募があり実施に至った。</p> <p>実施概要 気温は 10 度以下の冷え込みだったが風のない天気だった。鳶尾団地バス停に 10:00 の集合だったが時間前に全員がそろった。山頂で温かいうどんを作ってみんなで食べようという企画でもあり前日に用意した食材や用具を分担して運んでもらう。真冬の山に登るハイカーはまれで迷う山でもないのだから班構成はしたもの、自由に登るように話した。鳶尾山は登山口が鳶尾の中だけでも 4 つある。その中で最も一般的なのは天覧台公園の登山口であるコンクリートとの階段をジグザグに 250 段ほど一気に登りきるとコンクリートの鳥居がある。そこから山道になる。登山道は 15 センチほどの雪が残っていたが雪の消えたところを選びながら登る。着込んでいたので次第に汗ばんで早々に脱ぎタイムを取る。30 分ほどで二つ目の鳥居をくぐり金比羅宮の跡地に着く。ここには昭和 30 年代頃まで社があって友人から子供の頃、祭礼には店が並んだと聞いた。それが浮浪者の火の不始末で消失したそうだ。5 年ほど前だが、この鳥居の立替をしている時に偶然通りかかり志願して穴掘りの手伝いした。関わりのある鳥居である。すぐその先に緑色の展望台があり、東京スカイツリーを観ることができた。10 分ばかり休憩をとる。初めての人は登ったようだ。この先、北側の登山道には 20 センチを越える雪が残っていたが凍っていないのでアイゼンを使わずに済んだ。予定通り山頂に 11 時 30 頃到着、OM さんが着いていないというハプニングがあったがまもなく到着。山頂には無線交信をしている人が一人いただけ、班ごとに用意したうどんを作って食べた。アルコールも用意したがあまり飲まなかったようで余ったので花見用に頂いた。</p> <p>順序が後先になってしまったが食事が終わったあと、全員に集まっていたら、今日の山行の趣旨を話し H さんのご苦勞をねぎらい感謝の意を表した。S さんから予期せぬ花束の贈呈があり大きな拍手をお二人に頂いた。また SK さんが鳶尾山の一等三角点の謂れをストックを使って解り易く話された。日本最初の測定の基点となった三角点だそうだ。そのあと、全員でクラブの歌「丹沢の四季」を合唱し全員の集合写真を撮り下山、14:30 分のバスに余裕を持って乗ることができた。山行の実施に当たって大勢の方にご協力を頂きました。おかげさまで楽しい意義のある山行ができました。感謝いたします。</p>			